

(敬称略)



▲熊野第二小学校

6年 友岡 丈征

『すこいな茅ぶきの家』

【評】茅ぶき屋根のその形や重々しさに感動して描いた作品です。立体的に構図をとらえ、柱や板1枚1枚をくわしくスケッチし、素朴な感じを表現しようとした色の濃淡を工夫して描いています。

▲熊野第二小学校 5年 笠井 翔平

【評】手本をよく見て、点画をていねいに書きました。特に、横画の間隔に気をつけて書き、まとまりのある作品になりました。

五年 笠井翔平  
**星**

熊野の自然 (177)

ヒメジョオン

(キク科)



「姫女苑」の名は、紫苑より花や姿が小さいことから付きました。帰化植物で、渡来した頃「柳葉姫菊」と呼ばれたそうです。明治維新前後に入り鉄道沿いに広がったため、ゴイシンソウ、テッドウグサと呼ぶ地方があります。

現在では、全国いたる所でごく普通に見られます。受粉せず種子ができることも、驚異的に分布を広げた一因です。1〜2年草です。根生葉は花の頃には枯れておりません。茎は白い髄がつまっています。直立し上部で枝を分けます。高さは30〜100cmほど。葉は互生し、粗い鋸歯があります。茎や葉には立った毛が多く、触るともさもさしています。

若い葉は生で天ぷら、ゆでて水にさらし和え物、油炒め、佃煮などで食べられます。原産地の北米では、結石の薬や利尿剤に用いました。花期は6〜10月頃。写真のように中心部が最初に咲きますが、これ以上は伸びません。外側の枝が長く伸び、多くの花をつけます。花の直径は約2cm。まわりの舌状花は白色、時に淡紅色で、中央の筒状花は黄色です。

ヒメジョオンの草姿は、熊野町で以前は「紙花」(白い紙を切つて竹にさした葬式の飾り)を連想させたようです。明治生まれの祖母は生前、ソールンバナ、シカバナと呼んでいました。今では方言を知る人も限られてしまいました。よく似たヘラバヒメジョオンは、葉の鋸歯がなく毛も少なく、特に根生葉の幅が狭いのが特徴です。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成16年4月30日	平成15年4月30日
26,184人 ...人口...	26,246人
12,753人 ... 男 ...	12,812人
13,431人 ... 女 ...	13,434人
9,936 ...世帯数...	9,833

熊野町の火災と救急 平成16年3月中

火災	1件
死傷	0人
救急搬送	67件
	66人

火災と救急の通報は119番  
その他、消防の問合せ・相談はこちら  
海田地区消防署熊野出張所  
TEL 854 - 1103

今月の題字



熊野高校 中川 さやかさん  
1年生